

## 地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 ( 17-1 )

団体名	特定非営利活動法人 健康・生きがい就労ラボ	代表者名	(職名) 副理事長	(氏名) 井川 京子
事業名	高齢者の生きがい就労(ショートワーク等)のネットワークづくり及び浸透・拡大事業			

### < 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」「毎○曜日」等で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
月1回	zoom会議	(橋之爪 井川)	制作会議
都度取材	公共施設、カフェ、 現地、zoom、電話等 で取材	(井川、 山口)	取材活動、撮影
2月1日	アステ市民プラザ	8名 (7名)	第1回生きがい就労って? キャリアコンサルタント(遠座理事長)によるシニアの生きがい就労に関する講演と、ワークショップ(井川)。
2月8日	アステ市民プラザ	8名 (6名)	生きがい就労図鑑(働くシニアのリアルボイスを紹介)とシニアの生きがい探しワークショップ。そして、生きがい就労図鑑の137人目としての『シニア向けスマホ教室講師』大林氏を公開取材。
2月15日	アステ市民プラザ	9名 (6名)	シニアこそスマホ。スマホがシニアの武器になる、スマホの使い方あれこれを大林講師が担当。ラボ独自のやり方であるチューターがついて丁寧に学びを進行。
2月22日	ここおる	井川、山口、 橋之爪	制作会議
2月28日			シニアの就労図鑑上梓、 及びサイト <a href="https://lifespiceworks.com/library">https://lifespiceworks.com/library</a> 公開

### < 効果と成果 >

今回、137人の働いているシニアを取材することにより、今までにない楽しみながら働く横ノリさん、おてつたびトラベラー、コミュニティビジネスの誕生の兆しなどの新しい働き方をしているシニアにも出会い、人生100年時代に備えて活動しているシニアにもたくさん出会えた。しかし、エイジズムや取り残され感を抱き、不満を抱えたシニアも思いのほか多く(全体の54人、39.4%)、就労のミスマッチにより、依然として人手不足の解消とはなっていない。不満を抱く方々に、学び直し、学びほぐしについて尋ねたところ、明確に意識して取り組んでおられない状況もわかり、定年少し前からの学び直し、学びほぐしをする重要性をより一層強く感じた。また、プチ就労や短時間就労について、まだまだ認知度が低く、今回のセミナーで初めて、『自分を含めたシニア就労の新しい可能性を知った』、『自分も参加してみたい』、『復職、就労するために学ばばいいのかわからなかったが、とりあえずスマホかな』という意見をいただいた。

宝塚市から始まった健康・生きがい就労トライアル事業を川西、伊丹 と拡げていく必要性を強く感じた。

< 今後の展望 >

作成した図鑑を元に、シルバー人材センターなどで、就労を希望する方々に就労準備講座としてのスマホの講座、面談のためのzoom講座、在宅を希望する方々に向けCanva講座など実務的な講座を展開。シニアの就労の必須条件となってきたスマホを使いこなすスマートシニアを増やし、生きがい就労の間口を拡げていきたい。また、スマホを使いこなすシニアが講師やチューターとなって就労する、生きがい就労としての“スマホ教室講師” “スマホチューター”を数多く誕生させ、自発的に組織し、地域でスマホ相談を行うグループを組織し、コミュニティビジネスの発芽を促したい。

作成した図鑑をより多くのシニアにご覧いただき、ショートワーク、短期就労、有償ボランティア、コミュニティビジネスに興味を持っていただき、ひとりでも多くのシニアに生きがい就労の機会を得ていただきたい。また、人手不足の企業と小仕事の切り出しで就労先を増やし、一人でも多くのシニアの背中を押すことができれば幸いに思う。そして、阪神北地区に定着させたい。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	27,927
合計	527,927

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経 費	人件費	212,000	200,000
	委託費	132,000	132,000
	アルバイト賃金	74,615	74,000
	その他 (旅費交通費等)	109,312	94,000
	小 計	527,927	500,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		527,927	500,000